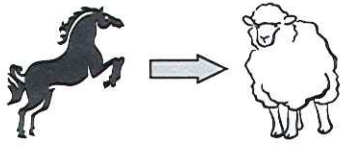


VEC てんこもり



2014 VEC 10大ニュース



今年も早いもので、10大ニュースの季節になりました。特に大きな事件もなかったかなーと思いつつも、拾ってみると、色々あるものです。

1. VEC新年交流会を綿業会館で開催。古くからの日本の繊維業界の歴史を感じながら、40年近くになったVECの歴史も誇らしく思いました。
2. 大阪梅田に新しくできた「グランフロント大阪」で交流会を開催。テナントオーナーの(株)フジキン様のお世話で、其のあとの交流会も盛り上がりました。
3. 同じく、新しくオープンした「あべのハルカス」でも交流会を開催。同じテナントオーナーの阪南大学の石井先生のお世話で交流会。やはり盛り上がりました。
4. もくもくファームの木村社長にファームの新年交流会のお話と共に、直営店での食を味わいました。やはり新鮮なものはおいしいです。
5. 毎年VECより発行していますベンチャー白書を今年から英文でも発行、VECの国際化も前進しています。
6. VECのホームページやパンフレットも新しいコンセプトでリニューアルしました。是非、覗いてみてください。
7. 日本政策金融公庫の主催する講演会で、中小企業を対象に経営上の取り組みや経営プランについて、お話をしました。御清聴ありがとうございました。
8. 皆様方にご愛読? 戴いている「てんこもり」も早いもので10年になります。いつまで続けられるかわかりませんが、頑張る所存です。どうかよろしく。
9. 以前、文部科学省からVECの交流会に参加しておられた聖子さん。今では国際結婚されドイツにお住まいですが、教授でご主人のジュゼッペ氏が単身大阪に大学訪問で来られ、新製品の販売に皆で頭を絞りました。
10. VEC関西のご存知、色彩心理学のカウンセラー濱本女史がプレミアムクラブを主宰。女性の起業とシニアを応援します。

番外 二人の孫たちも大きくなりましたが、次男坊に男の子を授かることになりました。まだ、顔は見えていませんが、もうヘナヘナしています。

(一財) ベンチャーエンタープライズセンター
理事・関西支部長 本田 英行

インドネシア

2014年度版中小企業白書によると、日本では2011年から本格的に人口が減少、世界でも類を見ないカクテルグラス型超高齢社会に突入、中小企業者も420万社から385万社に減少、経営者も高齢化している。そのような中で中小企業者も国際化への対応は急がれていて様々な支援策も講じられていると述べられています。

先日仕事でインドネシアへ行く機会がありました。インドネシアはご存知のように東南アジア南部に位置し、島々によって構成されている共和制国家であり、その面積は日本の5.5倍、人口24,800万人という旺盛な内需が見込める魅力的な巨大市場です。

インドネシアへは日本からジャカルタまで7時間のフライト、そして工業団地まで車で3時間の移動、ジャカルタからの高速道路は大渋滞でした。インフラ整備はまだまだの状況です。物価や給与は、オペレーターは月収3万円程度、車はトヨタが販売中の「ヤリス(日本名ヴィッツ)」は約170万円、住宅はジャカルタで中低所得層向けの物件で200万円から300万円ほどでした。

現地日本の車部品メーカーの役員に話を聞くと、2輪の販売台数は年間800万台、ホンダが62%、ヤマハが32%、自動車も130万台の販売台数であり、トヨタをはじめほとんどが日本メーカーで市場を占めているとのことでした。

インドネシアは資源国ではあるがエネルギー消費が拡大する中で、石油輸入国に転じる状況と、燃料補助金政策など多額の補助金は、財政収支と経常収支の「双子の赤字」の原因となっていて、新しい大統領のジョコ氏も難しいかじ取りを迫られるようです。

インドネシア政治経済の今後の展開は、日本の中小企業にも大きく影響するだろうと感慨深いものがありました。

はしもと経営研究所
中小企業診断士 MBA 橋本豊嗣

(独) 中小機構 近畿本部 チーフアドバイザー

保育ジジイの日本経済・歪論（下）



「てんこもり」で何度も同じ主張を繰り返していますが、ご容赦ください。労働人口が大幅に減少していく未来に向けて、視点を切り替える必要があります。人間を大切に、中間層を含めて国民を豊かに、内需を拡大する、産業政策は、中小企業を大切にしていこう・・・。「技術力のある中小企業が日本を救う」・・・これが私の一貫した主張です。中小企業が、協業やコンソーシアムを組んで共同受注を目指す・・・そんな動きが活発になっている現実も紹介しました（注）。行政でも支援しようという動きが見られ、嬉しい限りです。

何度も繰り返しますが、日本の強みは、固有の文化や伝統に根差した知恵や技術の蓄積です。他国と比較して、素材や部品産業に圧倒的な強みを持ち、しかも大半が中小企業です。必要なことは、社会のニーズに根ざした「産業への方向づけ」であり、戦略です。個別には、新製品に向け技術をオルガニズする発想や企画です。一例を挙げれば、世界を席巻している携帯や端末タブレット。その中身は、日本製の部品が大半という現実は何とも嘆かわしい限りです。同時に、企業経営者は、「増収増益」の幻想を捨て去るべきです。社会の変化に併せ、事業内容を適合させていく必要があります。大企業でも、日立製作所、富士フィルム、日清紡などは、巧みに事業の内容を変遷させ成功していった典型例です。今こそ産・官・民が力を合わせ、「ものづくり」に強い中小企業を応援し、育てていきましょう。

最後に、未来のために、足元を見つめ直す必要があります。私たちは、豊かな自然や水資源に恵まれ、農業、林業、漁業を育んできました。特に、水資源の豊富さは、世界でも群を抜いています。エネルギーと食糧は「地産地消」が基本かと思えます。生産者と消費者が、共に豊かになる道を模索すべきです。農業、林業、漁業は、市場原理には馴染みません。価格が安い、便利、といった安易な理由での自然破壊は避けたいものです。例えば、エビの養殖のために、東南アジアの大切なマングローブの林を養殖池に変えたり、安い木材を手に入れるために豊かな森林を伐採する、レアメタルや化石燃料のために山や土地を乱掘するなど、環境を破壊していいはずがありません。消費者などが資金や消費を支え、NGOや互助組合を作り、生産者を支えるネットワーク作りも必要です。例えば、森林互助組合などを作り、元気な若い人たちに雇用の場を提供するなどの方法もあります。

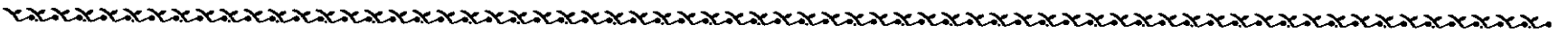
消費者の食行動も再考しましょう。虫食い、形の不揃いな農産物、近海で獲れた魚介類なども目を向けましょう。贅沢な食行動も改めましょう。例えば、遠洋漁業を廃止し、生産国から洋上で買い取ったり、チリのように漁業産業を育成し、その製品を輸入するのも一つの方法です。海外での近隣窮乏策を廃止し、その国も共に豊かになってもらいましょう。国内では、漁船で獲れた魚をネットで販売、牛に果実の搾りかす食べさせてブランド化、小豆島では特産のオリーブを牛の飼料に加える、ワイナリーを作る、「もくもく」のように農事法人を立ち上げ、付加価値を高めて6次産業化を図る・・・等々、地域の特性を生かした様々な取組がみられます。また間伐材を生かし、ペレット状の木質燃料で地域の暖房ネットワークシステムを稼働させている事例も増えました。規模拡大の農業法人も脚光を浴びていますが、私は小規模な農家を大切にしたい。地域コミュニティを大事にしながら、豊かな自然環境を壊すことなく、次世代に残して欲しいと切に願望する次第です。（完）

（注）「てんこもり」（2013/9月号）（2014/8/5記）

（推薦図書）

富岡幸雄「税金を払わない巨大企業」（文春新書・9月20日発行）著者の富岡幸雄氏は国税庁の元職員で、公認会計士と税理士の第一号合格者。税制分野の権威であり、日米の大学で教鞭も。我が国の税制の歪みや課題を事例を踏まえ具体的に指摘しています。（2014/10/1追記）

羽世田 敏四郎 元・ベンチャーキャピタリスト



～おもしろい「色」のおはなし～

今年も残りわずかになりました。日に日に気候、温度も変わり皆様体調管理はキチンとしておられますか？

日頃気にかけておられても風邪などひいてしまわれることも多々あると思います。

今回は「色彩」と「健康」についてお話ししたいと思います。

「色」には治療特性があると言われていて、特に「色彩療法」では体の周波数を調整し正しく維持するために色光を用いて健康・美容・休息の調和をもたらすこともあります。ここで「こんな時にはこの処方カラーで」を2～3例あげてみたいと思います。

・風邪気味の時・・・白い肌着を身につける。特に綿がオススメ!!

「白色」は光波長を通過し、生体に伝導し体が必要な光をバランスよく吸収してくれる。又、「白色」は浄化を助けるとも言われています。

・足が冷える時・・・赤・橙の靴下で血行をよくする。赤・橙は暖色系で特に波長の長い赤は人間の体にエネルギーを与え心身ともに活発になりエネルギーが出ます。体温上昇にもなります。

ここで私がイチオシが「赤パン健康法」です。ただ赤色のパンツを身につけるだけです。

おへその10cm下に「丹田」（気をたくわえる）というツボがあり、この丹田が「赤色」をキャッチし結構よくホルモンの分泌もさかんになる＝元気になる。又、仕事など何に対しても活力がわくというわけです。

・物の覚えが悪くなってきた時・・・黄が脳を活性化します。脳の回転を速めてくれる色です。よって集中力も高まります。黄色の物を周りに置き毎日見ることにより「ボケ防止対策」にもつながります。

まだまだ色での健康管理はありますが、機会がありましたら続きをお教えしたいと思います。

新年に向けてぜひ皆様も「色」のパワーで健康になりましょう。

色彩心理カウンセラー 濱本 妙子

◆VEC新年交流会のご案内◆

今注目の「キッサニア」を運営されています住谷代表からご講演をいただきます。是非ご参加お待ちしております。

・日時：平成27年2月6日（金） 午後6：00～

・場所：綿業会館（大阪市中央区）

・講師：KCJ GROUP株式会社（キッサニア） 代表取締役社長兼CEO 住谷 栄之資 様

一財）VEC関西支部 事務局

～VEC関西より～

・自分勝手に消費税増税を掲げておいて、その延期で信を問う衆議院選挙とか・・・この年末押し迫った時期に、衆議院解散選挙、余りにも勝手すぎます。もう少し国民のことを考えて下さいよ。安倍総理!! デフレで歳が越せるかどうか悩んでいるベンチャーのことお忘れなく。（本田）

・先日初めての台湾旅行に行ってきた。海外旅行は久しぶりだったので楽しかったです! ツアーで行ったのですが、行き先によってガイドさんが変わりバスも乗り換え、2泊3日でしたがガイドさん5人でした! 仲良し3人（近所3人組）で台北を満喫してきました。今年も公私とも皆様にお世話になりました。来年も羊毛のように暖かくお付き合い下さいませ。（藤本）

・今年には私なりにグローバルな一年だったと思います。特に先般「てんこもり」でもお話しした海外で活躍されている女性と出会った事も影響されたと思います。特に現地でその国での活躍を拝見したので、今までにない女性の活力を覚えました。又、プレミアムクラブにご参加の方々には今年一年ご

支援・ご協力頂き有難うございました。さて、来年はもっと良い出会いがあるよう期待したいです。来年もよろしくお願致します。（濱本）

・今年もVEC10大ニュースで1年間を振り返りましたが、どれくらい皆様のお役に立てましたか・・・。来年は新しい企画も検討して価値あるVECを目指したいと思っております。来年も何卒よろしくお願申し上げます。（澤村）

<交流会の予定>

平成27年2月6日（金） KCJ GROUP株式会社（キッサニア）

代表取締役社長兼CEO 住谷 栄之資 様

・12月、1月の交流会はございません。

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293